

愛知医科大学病院

病院長名	道勇 学
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。特定機能病院や高度救命救急センターなどに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

愛知医科大学外科専門研修プログラム

【研修目標】 医師として必要な基本的診療能力を習得し、外科領域全般の専門的診療能力を習得します。関連する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者さんに信頼され、標準的医療を提供し、プロフェSSIONALとしての誇りを持ち、患者さんへの責任を果たせる外科専門医を目指します。さらに、サブスペシャリティ領域の専門研修を行い、それぞれの専門医取得へと連動します。

【研修期間】 3年

【研修スケジュール】 専門研修期間中、最低6カ月間、連携施設で研修を行います。年毎に、それぞれの医師に求められる基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と、外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定します。年度終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。

全サブスペシャリティ領域を網羅する専門研修指導医（55名）が指導します。研修期間中に大学院へ進むことも可能で、臨床に従事しながら臨床研究を行う場合、専門研修期間として扱われます。

豚を使った縫合セミナー（学生、研修医向け）



□ 主な連携施設

日赤愛知医療センター名古屋第一病院、日赤愛知医療センター名古屋第二病院、名古屋掖済会病院、名古屋医療センター、愛知県がんセンター、豊橋市民病院、安城更生病院、春日井市民病院、総合大雄会病院、一宮西病院、公立西知多総合病院、多治見市民病院、大垣市民病院、久美愛厚生病院、市立四日市病院、国立がんセンター中央病院など25施設

□ メッセージ

指導医（教授 佐野 力）

2014年新病院が開院し、9年経過しました。最新、最適な医療環境を提供するだけでなく、医療スタッフにも優しい外科を目指しています。消化器、心臓、血管、呼吸器、乳腺内分泌、腎移植の6診療科に、



小児外科が加わり、全サブスペシャリティを網羅する体制です。専門研修指導医55名を擁し、手術数は年間1,700件、プログラム全体で29,000件あります。

卒前卒後臨床実習に力を入れており、本年度マッチング率はフルマッチ100%でした。後期研修、専門医研修では本学出身者だけでなく、他学出身者も多くいます。海外留学中の医師もおり、多くのチャンスがあります。

□ 募集要項

・採用予定人数	8人
・給与/月額	基本給 173,500円 +地域手当+調整加算手当等 約76,000円
・当直回数/月	1~2回
・当直料/回	(救急外来) 宿直手当 約33,000円 (病棟) 宿直手当 20,000円
・その他	通勤手当, 住宅手当, 扶養手当, 賞与(年2回), 社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金)), 健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
・応募連絡先	担当者 石橋宏之 電話番号 0561-62-3311 (内線 87180) Eメール ishibash@aichi-med-u.ac.jp